

放射性指定廃棄物処分場建設反対署名

平成24年9月27日、高萩市は国から、放射性セシウム濃度が8,000ベクレル/kgを超える指定廃棄物（ゴミ焼却灰、下水汚泥、農林業系副産物等）の最終処分場の候補地として、高萩市上君田字堅石の国有林野を選定したことを、突然一方的に報告されました。

これは、昨年3.11大震災時に起きた福島第一原子力発電所事故により、茨城県内に拡散した放射性廃棄物の処分について、本来国の責任で対処しなければならないところを、高萩市一カ所に集めて処分しようというものです。

※指定廃棄物の放射線濃度＝8,000ベクレル/kg～10万ベクレル/kg

8月3日現在の茨城県内指定廃棄物量＝1,709t（今後増える見通し）

高萩市は福島原発事故により放射線被害を受け、放射線量が高い地域として国に除染実施を認定された市です。市では今年度より子どもたちが長時間関わる保育園・幼稚園・小中学校から優先的に除染を開始し、学校関係はこの夏休みで終了はしたものの、他の公園や通学路はまだ途上であり、その他の公共施設の除染は平成26年度までの計画となっています。

また、公共施設以外の私有地は市民が自己責任で除染しなければならず、さらに農林業や観光の風評被害も甚大で、放射線被害の影響は今後長く続くものと不安を抱えた状況です。

このように真に放射線被害者である高萩市民にとって、この度の国の選定の進め方や突然の一方的な報告のあり方は誠意ある行為とは思えず、不信感を抱くとともに受け入れるわけにはいきません。

以上、署名をもって国が指定廃棄物の処分場として高萩市を選定したことに強く抗議し、処分場建設に断固反対するものであります。

平成24年9月29日

公明党高萩支部支部長 今川敏宏
副支部長 菊地正芳

氏名	住所